

「病院運営に参加する看護部」向けの 病床・勤務及び看護必要度等を含む GIS看護支援システム提案書

WEB型の看護支援システム

「病院運営に参加する看護部」向けの病床・勤務及び看護必要度システムは看護部の経営資源の有効利用を最優先に考え、統括的な管理方式により病院の有効経営に達し、最終的には医療機関の看護効率をアップし、サービスの品質を改善して、病院の利益を上げる事になります。その他に本システムの利用により正確な医療看護情報をリアルタイムに提供し、管理者或いは経営者が迅速な指示を出せるよう手助け致し、より良い経営目標に達することが出来ます。

三大特徴:WEBベース、操作簡単、オープンソース利用

GIS

A Solution Company

株式会社 ジー・アイ・エス

Global Information Solutions Inc.

2023年1月

◆GIS看護支援システムの特徴

GIS看護支援システムの特徴

1、Webベースで導入簡単

アプリケーションをサーバにインストールするだけで導入完成。クライアントPCには専用アプリケーションやソフトウェアをインストールする必要はありません。Webブラウザのみでご利用できます。

2、スマートフォン対応

スマートフォンで操作できる画面や機能が充実、看護スタッフは移動や病室巡回しながら様々な看護実施や結果入力が可能

3、クラウド環境の運用

GIS看護支援システムは全てWebベースアプリケーションなので、ASP環境やクラウド環境の運用に適応しています。クラウド環境やテレワーク運用機能も充実しています。

4、オープンソースを利用

JavaやPostgreSQLなどのオープンソースを利用して開発されたWebベースの看護支援システムです。導入時に別途DBやアプリケーションサーバを購入する必要はありませんので導入費用は安く抑えられます。

5、ご利用できるクライアント数の制限がありません

Webベースアプリケーションのため、クライアントの接続数の制限はありません。院内の至るところからLANに接続さえすれば、ブラウザから簡単に接続できます。クライアント増設時の作業は必要ない

6、導入後のサポート

導入サーバに対するサポート形式なのでVPN経由にてリモートサポートできます。サポート費用は安く抑えられます。

トラブル対応のパッチ当てやバージョンアップはリモートより直接サーバにのみ実施すれば全てのクライアント環境はリアルタイムに反映します。効率によく、時間的にもかなり短縮できます。

他社の看護支援システム

(Webベース、オープンソースではないシステム)

1、クライアント<->サーバベース

アプリケーションをサーバにインストールする他、利用するクライアントPCにも専用のアプリケーションやソフトウェアをインストールする必要がありますので、導入時に手間が掛かります。

2、スマートフォン対応できないシステムは多々あります

3、クラウド環境の運用はできない

アプリケーションをWebベースへの変更が必要となります。テレワーク運用への対応は困難となります。

4、オープンソースを利用しない場合

DBやアプリケーションサーバを購入する必要がありますので導入費用は約200万～300万高くなります。

5、ご利用できるクライアント数の制限があります

サーバ環境以外、クライアントマシンに専用のアプリケーションを導入する必要がありますので、ご利用台数によりライセンス費が追加されます。

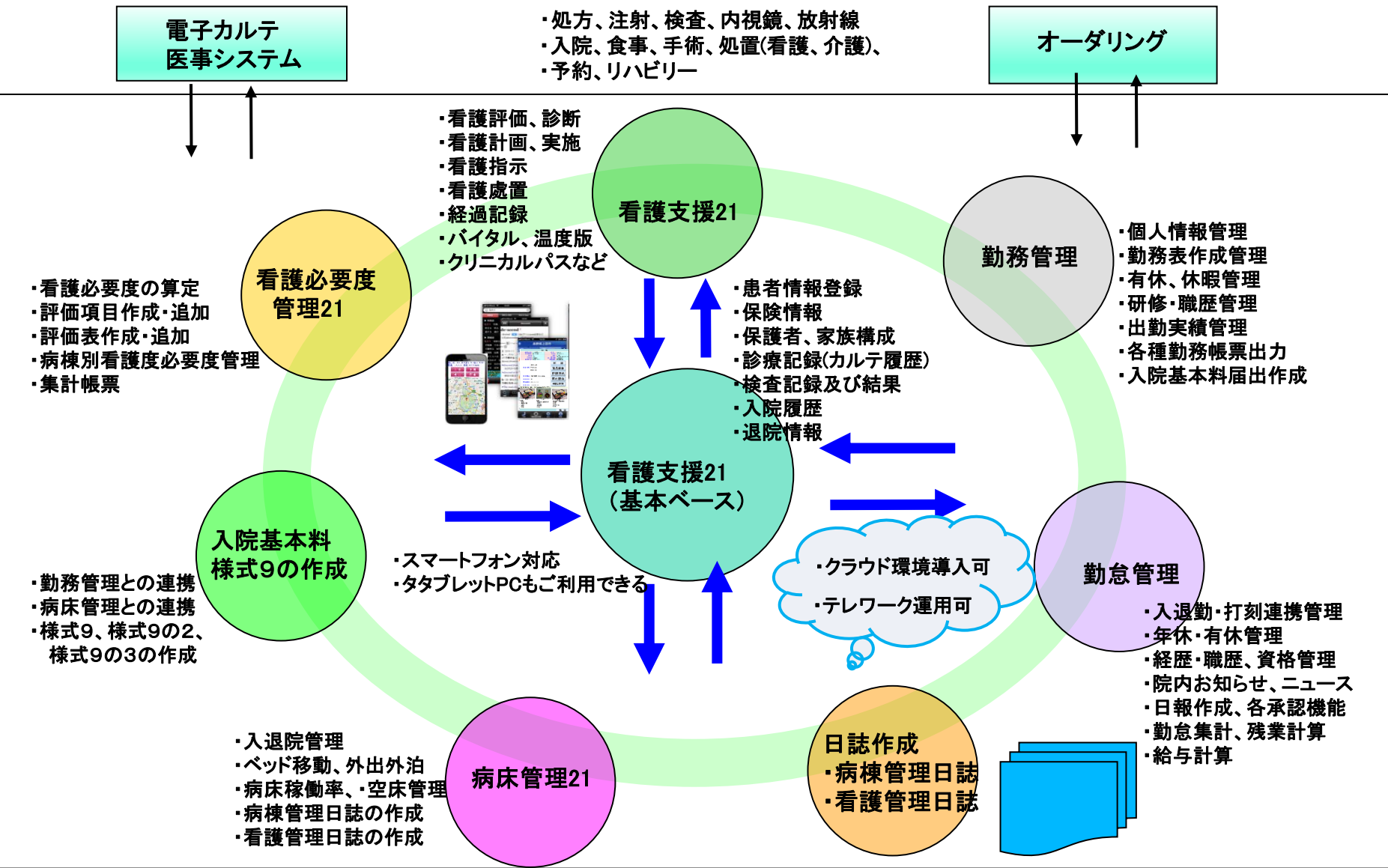
6、導入後のサポート

導入サーバ以外クライアントマシン側の問題なら、リモート・サポートは難しいです。現場でのサポートとなりますので費用は安く抑えられない現状です。

トラブル対応のパッチ当てやバージョンアップはサーバ及びクライアント環境両方に実施する必要があります、リモート形式ができない場合、現地にての作業となります。効率は悪く、時間も掛かります。

◆ GIS看護支援システムの機能説明 全体機能及び連携関係図

GIS看護支援を導入すると下記のイメージ図のように病院業務の管理を支援します。また、VOD機能の導入により看護支援をナースステーションから病室までに延長し、病院の医療レベルと医療効果を上げることが出来ます。



1、看護管理支援及び看護業務支援を統合したシステムの実現

- ①看護管理支援機能: 患者情報、病床管理、ベッドコントロール、患者マップ、勤務管理、看護業務分担、勤務実績など
- ②看護業務支援機能: 看護業務と看護過程などを支援します。
アナムネ、アセスメント、看護診断、看護計画、患者パス、看護指示、看護実施入力、経過記録、看護サマリーなど

2、標準看護計画をベースにして、臨床でよく使われる看護診断と看護計画を取り入れ、開発した看護支援システム

看護支援21はNANDA看護診断分類を準拠して、SOAP書式で
アナムネ>>アセスメント>>看護診断>>看護計画>>看護指示>>実施入力>>評価の順に現場の看護業務を支援します。

また、臨床でよく使われている看護診断及び看護計画を取り入れ、看護師が実務と同じ感覚で簡単に使用できるような看護支援システムです。

さらにベテラン看護師計画立案理論をシステム化することができ、日々成長していく看護支援システムです。

3、マイ看護ページ

マイ看護ページ機能は看護師が自分の担当患者や看護業務などの情報を簡単に検索ができ、実施した内容を纏めて記入できる機能です。
「患者中心の看護支援と記録」や「看護師中心の看護支援と記録」両方サポートできます。

4、オープンソースの利用及びWebベースアプリケーション

看護支援21は、お客様の導入費用を考慮するため、オープンソースを利用してシステムを作っています。よって、お客様の導入費用は安く抑えられます。

また、Webベースアプリケーションの特徴を生かして開発した医療業務アプリケーションなので、全ての画面はブラウザーにて表示されます。操作は簡単です。

5、医事会計と連動

日医標準レセプトソフト(ORCA)と接続できるため、ORCAで入力した患者基本情報や患者受付情報を看護支援21で活用できます。
また、入院中の患者情報もMMLでORCAに渡すことができます。ORCA以外、他の医事会計との関係も可能です。

1、NANDA、共通問題及び疾病別による看護計画の立案

アセスメントの視点から各患者の問題リスト、看護目標、看護問題などを洗出し看護計画立案を支援します。
アセスメントから得られた看護診断の候補について、「関連因子」「診断指標」の登録、ケアプランとして臨床でよく使われている「看護目標」「看護介入」を登録できます。SOAP書式で経過を記録します。

2、看護計画、スケジュールの作成(看護パスとの連動)

各患者の問題点に対し、目標、ケアや観察項目を決定するまでの過程を簡略化します。
目標、ケア、観察項目に関しては追加や変更が簡単にでき、さらに電子カルテからの患者オーダ情報を取込、ワークシート、看護パスなどを作成します。

3、入院経過・看護経過及び看護サマリーの記録

各患者の看護経過などを看護計画に合わせて、経時的経過記録とSOAP記録両方記録できます。
さらに、入院時、入院中 及び退院時のタイミングで看護サマリーに記録できます。

4、看護指示や処置オーダの作成及び実施入力

看護指示や処置オーダは簡単に作成できます。また、電子カルテと連動し、医師オーダーを取り込むことができ、実施入力や経過記録は簡単にできます。携帯端末を利用すればベッドサイトからの実施結果をそのまま入力できます。

5、バイタル記録・入力

患者の体温、血圧、脈拍、呼吸数、尿、排便、食事などの情報をバイタル画面より入力できます。携帯端末を利用すればベッドサイトからの記録入力も可能です。

6、看護クリティカルパスの作成

病院用の標準看護クリティカルパスや患者ごとの看護クリティカルパス及び地域連携パスの作成ができます。

7、送り機能

- ①患者様別の送りの作成ができます。
- ②勤怠の交代で、対応内容を記録できます。
- ③作成者による送りのステータス管理ができます。

8、褥瘡管理

- ①褥瘡対策に関する診療計画書及び危険因子評価表
- ②褥瘡形成予測K2スケール

9、帳票の作成

入院サマリー、ワークシート、看護計画表、クリティカルパス、地域連携パス、経過記録、看護サマリー、病院管理日誌、看護管理日誌などの帳票作成を支援します。

10、ナビ機能(オプション)

各オーダーや指示の流れや結果は一つの画面にて見れます。

その他

1、携帯やスマートフォンもご利用頂けます(病室までWi-Fiや無線LANがあれば)

- ・病室にて測ったバイタル情報を看護支援にご記入できます。
- ・病室にてワークシート画面を開き、患者のオーダー内容をご確認できます。
- ・病室にてオーダーの実施結果を看護支援にご記入できます。

2、テレワーク運用やクラウド環境のご利用も可能です。